湧別町立上湧別中学校　グランドデザイン

学校教育目標　「自分を見つめ，人を愛し，未来を拓く生徒」の育成

重点的に育成を目指す資質・能力

１　正しく判断する生徒（知）　２　人を思いやる生徒（徳）　３　生命を尊ぶ生徒（体）

何ができるようになるか

知

- 自分で物事を正しく判断できる生徒
- 自分の考えを持ち，発表できる生徒
- 自分で課題を見つけ，解決に向けて努力する生徒
- 深い知識を求め，真理を探究しようとする生徒
- 学習意欲があり，向上心を持っている生徒
- 創造性があり，自分で学習方法を工夫できる生徒
- 自分を客観的に見つめ，自己評価のできる生徒

徳

- 思いやりと温かい心を持っている生徒
- 礼儀正しく，節度をもって生活する生徒
- 互いに信頼し，寛容で協力した生活をおくる生徒
- 謙虚で感謝の気持ちを忘れない生徒
- 自己の役割を自覚し，最後まで責任を果たす生徒
- 互いに高め合う友人関係をつくる生徒
- 地域を愛し，進んで奉仕活動をする生徒

体

- 生命を尊重し，自他の安全に心掛ける生徒
- 健康や安全に対して自己管理ができる生徒
- 困難に打ち勝つ気力を持つ生徒
- 体力づくりに励み，スポーツ活動に親しむ生徒
- 勤労の意義を理解し，進んで働く生徒
- 畏敬の念を持ち，自然を愛する生徒
- 自分の将来を考えながら生活する生徒

子ども達の発達をどのように支援するか

- 学習や生活を基盤として，教師と生徒の信頼関係，生徒同士のより良い人間関係を構築する。特に集団の場面ではガイダンス，個別に対応するカウンセリングの双方により支援する。
- 自己の存在を実感しながら，将来おける自己実現を図れるよう支援する。
- 中高一貫教育におけるキャリア教育の充実を目指す。
- 学習内容を確実に身に付けるための指導体制の工夫。
- 特別な配慮を必要とする生徒への指導の充実。

何が身に付いたか

- 生徒のよい点や進歩の状況を積極的に評価する。
- 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性を高める。

何を学ぶか

知

(1) わかる・できる喜びを体感させる授業づくり
- 目標の提示，終末の振り返り，次回予告の徹底
- 少人数指導など個に応じた指導
- 協働的な学習（教え合い）の授業づくり

(2) 学習規律・学習習慣の確立
- 学習規律の徹底
- 家庭との連携を強化し，生活リズムの改善や家庭学習の定着（全学年統一した家庭学習）

徳

(1) 道徳教育
- 家庭，地域社会と連携した心の教育を推進する。
- 道徳教育推進教師を中核に，全教職員の協働体制の基，自己の生き方を考え主体的な判断の下，より良く生きるための道徳性を育成する。

(2) 特別活動
- ルールとリレーションを確立し，安心感と満足感に満ちた学級づくりに努める。

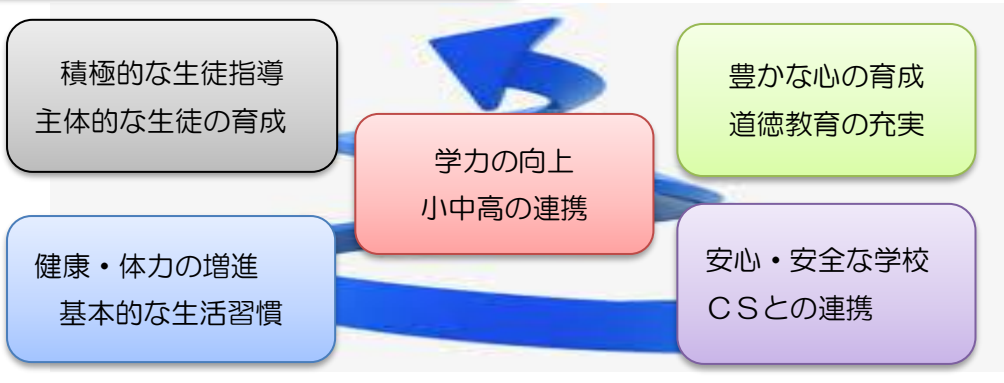
体

(1) 安全教育
- 自他の生命を尊重し，安全に対する知識，理解を深め，自己管理できる態度を育成する。

(2) 学校体育・健康指導
- 体育科や体育的行事，部活動を通し，健康や体力，忍耐力や克服力の向上を図る。

(3) 人権教育
- 自他の人権を尊重する態度を育成する。（アサーションを意識して）

実施するために何が必要か



どのように学ぶか

○　主体的，対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 各教科等で身に付けた知識・技能の活用
- 思考力，判断力，表現力等や学びに向かう力，人間性等の発揮

○　授業改善に組織的に取り組む，検証サイクルの確立

○　ＩＣＴを活用した指導力の向上